

保護者からの手紙（第 15 回－1）

暑い窓の外を見れば、へこたれているのではないか、夜になれば泣いているのではないか…五日間心配ばかりしていた私は、ゴールする我が子のキラキラした笑顔を見て、反省しました。子どもの力を一番信じていなかったのは、親でした。

帰ってきて、自分の荷物をすぐに整理して片づけ、夕食の時には、この五日間のことを本当に楽しそうに語ってくれる姿に、おのみち 100 km 挑戦隊に参加させてただき本当によかったと感じました。

新しい友達、そしてサポートしてくださった学生のみなさんとの出会いは息子にとって、良い刺激となったと思います。あんな 6 年生になりたい、優しいリーダーの様な大学生になりたい。今までなかった将来へのビジョンが広がったようです。少し近い目標が持てたので、そこへ向かって進んでいくことでしょう。

100 km 完歩はたくさんのみなさまの支えがあったこと本当にありがとうございました。サポートの学生のみなさま、NPO おのみち寺子屋の関係者のみなさまの今後ますますのご活躍をお祈りしております。
※保護者も感想文がどうしても書きたくて…乱筆乱文失礼いたします。